

湯谷城址



ゆうはちべえ

れおえもん

あきべえ

なな
和々

りんたろー

さ
沙々

ほ
穂々

き
希々



今、名倉の山城が七百年ぶりに蘇る

室町時代の山城 湯谷城

いざ、名倉武将隊と共に

名倉の歴史の入り口へ

湯谷城址をめぐる旅

設楽町観光協会

〒441-2302 愛知県北設楽郡設楽町清崎字中田 17-7

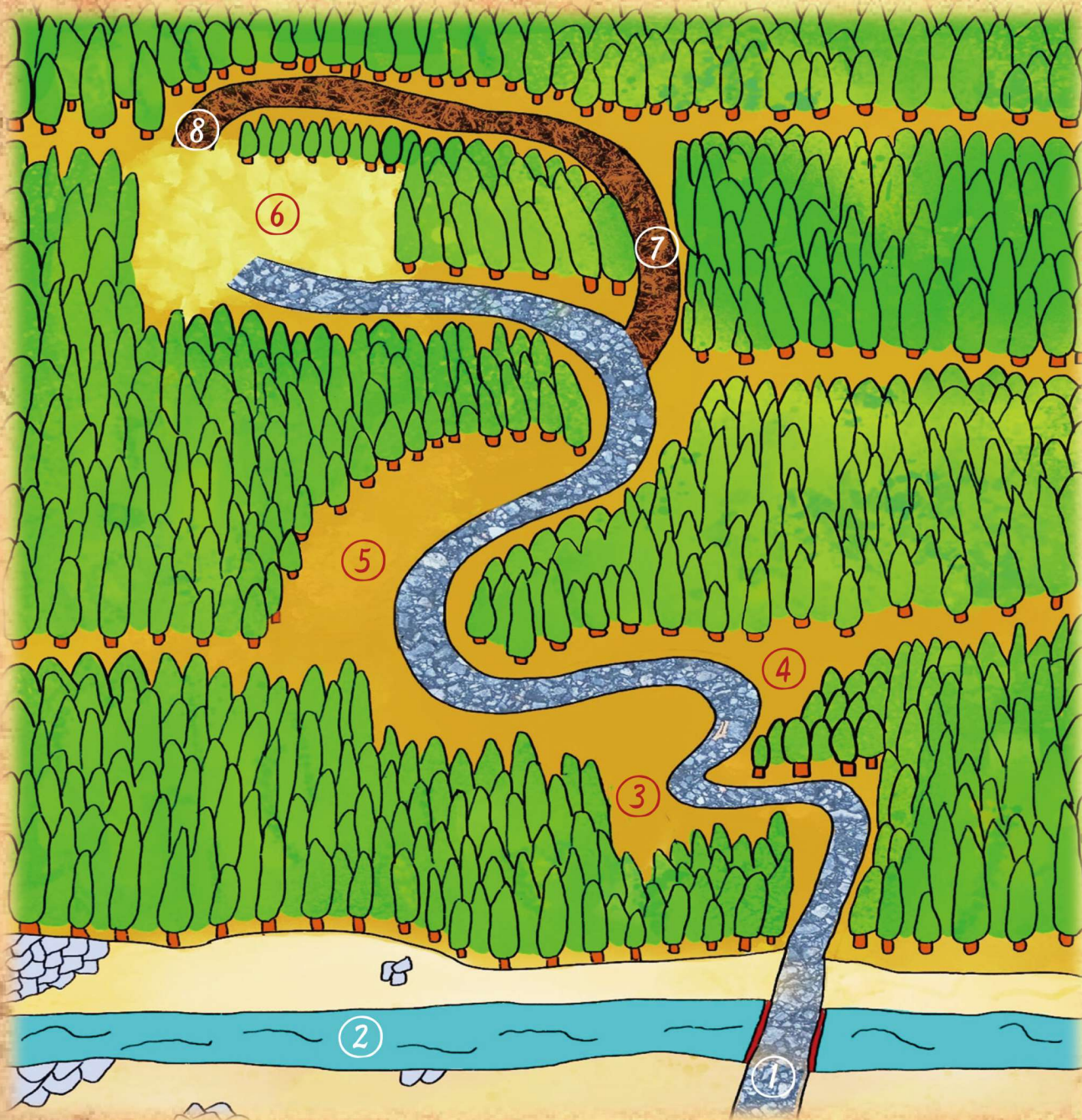
※2021年5月頃移転予定

〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前 14

TEL. 0536-62-1000 FAX. 0536-62-1332



湯谷城址見取り図



湯谷城は山の地形を利用した軍事拠点、山城です。山城とは、山頂に築いた城で、遠方を監視でき、守りやすく攻められにくいのが利点です。湯谷城の城主は分かっていません。

1、「門」(もん)

城の門は出入口としての役割のほかに、攻め寄せる敵を阻むという役割もありました。

2、「寺屋敷川」(てらやしきがわ)

この川が自然の堀の役割を果たしていました。堀とは、敵の侵入を防ぐために城のまわりに掘られた溝のことです。堀は、水を張った水堀と水のない空堀がありました。

3、「切岸」(きりぎし)

斜面を削った人工的な断崖(がけ)で、敵の侵入を防ぐためにつくられました。

4、「空堀」(からぼり)

攻めてくる敵をこの空堀に誘い込んで、投石で上から攻撃していました。

5、「曲輪」(くるわ)

城壁や堀、自然のがけや川などで仕切った城内の区画のことです。

6、「本丸」(ほんまる)

城の中で、中心をなす区画のことです。

7、「土塁」(どるい)

敵の侵入を防ぐために築かれた土製の壁です。

8、「搦め手口」(からめてぐち)

城の裏門のことです。城の偉い人が外に逃げられるような仕組みにもなっていました。